

令和 4 年度

# 事業計画及び資金収支予算書

社会福祉  
法人

佐野市社会福祉協議会

## 目 次

---

1 令和4年度 事業計画		1	
2 令和4年度 資金収支予算書		1 7	
社会福祉事業区分	資金収支予算書 地域福祉事業拠点区分 生活支援事業拠点区分	資金収支予算書	2 1
		資金収支予算書	2 5
		サービス区分内訳表	2 9
		資金収支予算書	3 7
		サービス区分内訳表	4 1
		資金収支予算書 (兼 福祉サービス事業拠点区分資金収支予算書)	4 9
公益事業区分	福祉サービス事業拠点区分	サービス区分内訳表	5 1
	資金収支予算書 (兼売店事業拠点区分資金収支予算 兼サービス区分内訳表)	5 3	
収益事業区分			

# 令和4年度事業計画

## 基本方針

新型コロナウイルスの感染流行が長期化する中で、社会全体が度重なる行動制限を余儀なくされ、地域における住民同士の交流や地域活動の機会が減少しています。そのような状況の中、介護、障がい、子育て、ひきこもり、生活困窮など課題を抱える個人や世帯が、より一層、社会から孤立しやすい状態となっています。

こうした状況を踏まえ、地域住民やNPO、団体、企業など地域の多様な主体が参画し、世代や分野を超えて、お互いに支えあいながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現への取り組みや、国際的には「SDGs」（エス・ディー・ジーズ：2030年に向けた持続可能な開発目標）への取り組みがたいへん重要となっています。

本協議会では、令和元年度から5年間の計画として、第3次佐野市地域福祉活動計画を進めており、本年度で4年目を迎えます。「みんなが集い ふれあい 支えあうまちづくり」を基本理念として、地区社会福祉協議会や関係団体、行政機関との連携を強固にしながら、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを推進しています。

長期化するコロナ禍において「Withコロナ」、「afterコロナ」の視点も取り入れながら、地区社会福祉協議会における地域福祉活動や生活困窮者等の支援など各種事業に取り組むとともに、地域福祉を推進する中核団体としての機能を果たすため、総合的な体制の強化を進めます。

## 重点目標

### 1 ボランティア活動の促進

学校や地域との連携を深めながら、次代を担う子どもの福祉に対する理解と関心を深めるとともに、ボランティアの育成や活動を活性化し、身近な窓口として本所、田沼支所、葛生支所に相談や支援の拠点を置き、地域に密着したボランティアのコーディネート及び人材の育成やリーダーの養成を行います。

また、災害時に佐野市災害ボランティアセンターを円滑に設置運営するため、センター運営の経験を活かしながら、日頃から体制整備や関係団体との連携を図るとともに、災害ボランティアを育成し、災害時に迅速に対応できるよう備えます。さらに災害時の地域住民の助け合い活動などを支援します。

### 2 生活支援の充実

市民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、安心した生活が送れるよう支援するとともに、困りごとを抱える人の早期発見、継続した支援を行います。

また、長期化するコロナ禍において経済的に困窮している方、社会的に孤立している方や、複合的な問題を抱える家族の相談に応じ、当事者に寄り添いながら関係機関と連携を図り自立に向けた生活支援を行います。

## 重点目標

### 3 地域共生による福祉活動の推進

地域共生社会の実現を目指し、市民参加による自立したまちづくりを推進するため、地区社会福祉協議会をはじめとした住民組織の活動を支援していきます。さらに、令和4年3月に配置した福祉活動推進員（※）の活動を通じ、住民の個別の福祉ニーズを探るとともに、第4次佐野市地域福祉活動計画策定に向けた、地区座談会を開催し、広く住民の福祉問題の把握に努め、解決に向けた地域住民の自主的な活動が活発化するよう働きかけを進めています。

また、長期化するコロナ禍により孤立しがちな世帯を見守り、支えあう活動の担い手の育成を行います。

### 4 地域福祉推進に向けた基盤の強化

経営組織と財務規律の強化、事業運営の透明性の確保に努めながら、組織内部の諸規程の改正や整備、事務処理等の見直しを行い、事務事業の効果的かつ効率的な実施に努めます。

また、第3次佐野市地域福祉活動計画の進行管理と事務事業の評価を行い、第4次佐野市地域福祉活動計画の策定に向けて準備を進めるとともに、職員の各種研修をオンライン開催等も取り入れながら持続的に実施し、地域からの多様な相談や課題解決に対応できる人材の育成を行います。

※福祉活動推進員とは、地区社会福祉協議会の活動やその支援に資することを目的として、地区内の住民同士の交流や様々な福祉活動の場などに出向き、地域住民の福祉ニーズを収集し、把握、分析しながら地域共有の生活課題を見出していくため、配置している非常勤の契約職員をいう。

## 1. 健やかで元気に暮らせるまちづくり

### ～地域福祉を支える人づくりと地域福祉活動の支援～

市民一人一人が福祉に対する理解と関心を高めるため、あらゆる機会を通して共に福祉意識の向上に努めます。

地域で活動するボランティアの育成や活動の支援を行います。

福祉団体や市民の地域福祉活動が継続的に展開できるよう支援します。

#### 1 福祉意識の向上

年代を問わず福祉を身边に「我が事」として捉え、自分たちの地域の課題や、将来の在り方などを考えていただく機会を提供し、地域活動を担う人づくりを推進していきます。

##### (1) 福祉共育の推進

事務事業名	内 容	
福祉教育事業	小中学校での福祉に関する講話や、体験学習を通して福祉への関心や理解が深まるよう授業協力を行うほか、企業や地域団体へも出前講座を行い、福祉の担い手を育成する。	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：187千円
福祉作文募集事業	次代を担う子どもたちが学習や生活の中で福祉に対する一層の理解と関心を持つ機会とする。 優秀作文を作品集にまとめ、子どもたちの思いを全世界に啓発する。（B配分金事業）	形態：自主事業 財源：共同募金配分金 予算：449千円
地域福祉啓発事業	地域共生社会を目指し、「佐野市社会福祉大会」を市と共に催す。そこで福祉功労者等の表彰、感謝状の贈呈、福祉作文の発表、福祉講演等を行い広く市民に福祉の理解と啓発を行う。	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：172千円
佐野市ふれあいフェスティバル開催	子どもから高齢者まで、すべての人が楽しめるような、地域に存在する様々な主体が「わが事」として主体的に参画し、支えあうまちづくりをテーマに、地域での支え合いや人ととのつながりを共感できるイベントを開催します。	形態：自主事業 財源：会員会費 ：共同募金配分金 予算：2,794千円

##### (2) 共同募金運動の推進

事務事業名	内 容	
共同募金運動	「赤い羽根共同募金運動」として、戸別・法人・学校・職域等市内全域で募金活動を展開する。	形態：自主事業

事務事業名	内 容	
歳末たすけあい運動	前年度に「歳末たすけあい募金」として集められた募金を、地域ささえあい活動助成金として市内の団体が行う地域福祉活動の推進事業などに配分し活用する。	形態：自主事業 財源：共同募金配分金 予算：1,926千円
災害見舞金事業 (共同募金 A 配分事業)	被災世帯に見舞金または弔慰金を支給する。 栃木県共同募金会から社協活動促進配分の助成を受け 軽自動車、硬貨選別計算機を各一台ずつ整備する。	形態：自主事業 財源：共同募金配分金 予算：1,500千円

## 2 ボランティア活動の促進

ボランティア初心者に向けた講座や地域における福祉活動の担い手を育成するために、各種ボランティア講座を開催し、福祉啓発を通して、ボランティアの人材育成をします。

また、地域においては、身近な付き合いの希薄化が問題視されており、住民同士の見守りや災害時の対応などに关心が高まっています。

近隣住民同士の交流の中で、実施できる活動を広め、健やかで元気に暮らせるまちづくりの推進に取り組んでいきます。

### (1) ボランティア活動の促進・育成

事務事業名	内 容	
ボランティアセンター事業 (重点目標)	本所、田沼支所、葛生支所に相談や支援の拠点を置き、地域に密着したボランティアのコーディネートを実施するとともに、人材の育成、リーダーの養成を行う。 ・ボランティアドライバー講習会 ・傾聴ボランティア養成講座 ・中・高校生ボランティアスクール	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：1,854千円
災害ボランティアの育成 (重点目標)	災害時は、佐野市との「佐野市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書」に基づき、災害ボランティアセンターを設置するため、平時より災害ボランティアを育成する。 また、災害ボランティアセンター運営に関して関係機関・団体と連携し災害ボランティアセンター運営訓練を行う。 ・災害ボランティア講座 ・災害ボランティアセンター協働連携会議 ・災害ボランティアセンター運営訓練	

## (2) 奉仕員養成研修事業

事務事業名	内 容	
奉仕員養成研修事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話講習会の開催 手話を習得することにより、聴覚障がい者への理解と交流を深め、手話のボランティアを養成する。</li> <li>・点字講習会の開催 点字を習得することにより、視覚障がい者との理解と交流を深め、点訳のボランティアを養成する。</li> <li>・要約筆記講習会の開催 中途失聴・難聴者のコミュニケーション手段としての要約筆記を学び、中途失聴・難聴者に対する理解を深め、要約筆記のボランティアを養成する。</li> </ul>	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：1,367千円

## 3 地域福祉活動の支援

安心して暮らせる環境づくりを目指し、孤立感を解消できるような居場所づくりを中心に福祉団体や高齢者、障がい者、介護者、地域福祉を支える人づくりと地域福祉活動の支援を推進していきます。

### (1) 福祉団体活動の支援

事務事業名	内 容	
地域福祉活動助成事業	福祉団体の育成及び活動の推進のために活動費を助成する。（B配分金事業）	形態：自主事業 財源：共同募金配分金 予算：2,548千円
社協バス管理運営事業	高齢者福祉センター利用者並びに各種福祉団体の研修等の利便性を図るために、社協バスを運行する。	形態：補助事業 財源：市補助金 予算：983千円

### (2) 高齢者・介護者の支援

事務事業名	内 容	
家族介護者交流事業	高齢者等を介護している方を対象に、介護者の交流を目的とした研修会や、介護技術習得を中心とした研修会を実施する。さらに日頃の介護疲れを癒し、元気回復、リフレッシュするための1泊2日の「在宅介護者の集い」を開催する。	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：662千円
佐野市在宅介護家族の会事務	佐野市在宅介護家族の会に対して、事務的な支援を行う。	

事務事業名	内 容	
葛生あくと高齢者生きがい工房	高齢者が生きがいや希望を持ちながら、地域での生活が送れるよう支援する。また、趣味や仲間作りを通して孤立を防ぎ生きがい活動の支援を行う。	形態：指定管理 財源：指定管理料 予算：110 千円
佐野市高齢者生きがい活動支援通所事業	高齢者が趣味活動、レクリエーション活動、健康づくり活動等を行うことにより、要介護状態にならず、いつまでも健康で生きがいのある生活が送れるよう支援する。 開設場所：あくと生きがいサロン、常盤生きがいサロン、氷室生きがいサロン、会沢生きがいサロン	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：4,728 千円

### (3) 障がい者の支援

事務事業名	内 容	
心身障がい児・者交流事業	心身障がい児・者と健常児・者とが、レクリエーション等を通じて相互の交流を深め、障がい児・者の社会参加を促進する。	形態：補助事業 財源：市補助金 予算：679 千円

### (4) 子育て支援

事務事業名	内 容	
ファミリー・サポート・センター事業	乳幼児や小学生の子どもをもつ保護者への子育て支援について「援助を受けたい人」「援助を行いたい人」との相互援助活動に関する連絡・調整を行い、安心して子育てのできる環境をつくる。また、講習会や交流会の実施により、会員のスキルアップを図る。	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：8,474 千円

### (5) 地域福祉事業の運営

事務事業名	内 容	
地域福祉運営事業	地域福祉事業の運営にかかる事務費用	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：1,661 千円

## 2. 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり ～安全で安心な生活づくり～

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、相談支援体制の充実を図るとともに、日常生活に支援が必要な方に対して生活支援サービスを提供します。

また、介護保険事業や老人福祉センター事業などを実施することにより、安全で安心な生活づくりを推進します。

### 1 生活支援の充実

市民が抱える様々な問題を気軽に相談できる窓口を充実させるとともに、複合的な問題にも対応できるよう関係機関と連携を密にとりながら、総合的な相談支援体制の充実を図ります。また、生活困窮者や高齢者・障がい者等の日常生活の自立に支援が必要な方には、就労支援や貸付、日常生活自立支援事業等必要な支援を行い、世帯の自立を支援します。

#### (1) 相談支援の充実

事務事業名	内 容	
生活困窮者自立相談支援事業 (重点目標)	生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施し、自立を支援する。	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：18,893千円
心配ごと相談事業	市民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言、援助を行い、安心して生活ができるよう相談支援を行う。 また、毎月1回（第1火曜日）、弁護士相談を実施し、法律に関する相談にも応じる。	形態：補助事業 財源：市補助金 予算：417千円

#### (2) 生活支援サービスの提供

事務事業名	内 容	
日常生活自立支援事業	判断能力に不安のある高齢者や障がい者に対し、福祉サービス利用援助、金銭管理代行、大切な書類の保管など、地域で安心して暮らせるよう支援する。	形態：受託事業 財源：県社協受託金 予算：9,651千円
法人後見事業	認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、市社協が成年後見人、保佐人、補助人となって権利を擁護し支援する。	形態：自主事業 財源：共募配分金・会員会費 予算：789千円
生活福祉資金貸付事業 (重点目標)	低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯などを対象に、無利子または低利子で資金の貸付を行い、世帯の自立に向けて支援を行う。	形態：受託事業 財源：県社協受託金 予算：2,090千円

事務事業名	内 容	
小口貸付資金事業	生活困窮世帯に対し、緊急的に必要な資金の貸付を行い、生活を維持できるよう支援する。 (貸付金額：上限 30,000 円 償還期間：1 年)	形態：自主事業 財源：自主財源 予算：870 千円
行路人支援事業	市内で行路途中に支援が必要となった方に対し、食料等を支給して支援を行う。 (支給額：300 円)	形態：自主事業 財源：自主財源 予算：9 千円
福祉用具等貸出事業	福祉用具、福祉車両、イベント用具等の貸出を行い、市民の福祉・地域活動等を支援する。	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：816 千円

## 2 福祉サービスの提供

誰もが住み慣れた地域で安心して日常生活を営めるよう、介護保険事業や児童発達支援事業など、一人一人の心身の状況や置かれている環境に応じた適切な支援を行うとともに、その人らしい豊かな生活が送れるよう、各種サービスの充実を図ります。

### (1) 高齢者福祉サービスの提供

事務事業名	内 容	
居宅介護支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護支援事業 介護保険で要介護の介護認定を受けた方が、居宅介護サービス等の適切な利用ができるよう、心身の状況、その置かれている環境、家族の希望等を勘案し、居宅サービス計画(ケアプラン)を作成し、関係機関との連絡調整、給付管理を行う。</li> <li>・介護予防支援事業 地域包括支援センターから委託を受けて、要支援1・2の方の介護予防サービス計画の作成及び総合事業対象者の介護予防ケアマネジメントを行い、関係機関との連絡調整、給付管理を行う。</li> </ul> <p>事業所名：社協ケアプランセンター佐野</p>	形態：自主事業 財源：介護報酬 予算：48,504 千円
介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターが指定介護予防支援事業所として、予防給付に関する介護予防ケアマネジメントを実施する。</li> <li>・担当日常生活圏域【佐野、犬伏】 事業所名：佐野市地域包括支援センターさの社協</li> <li>地域包括支援センターが指定介護予防支援事業所として、予防給付に関する介護予防ケアマネジメントを実施する。</li> <li>・担当日常生活圏域【葛生、常盤、氷室】 事業所名：佐野市地域包括支援センターくずう</li> </ul>	形態：自主事業 財源：介護報酬 予算：25,976 千円

事務事業名	内 容	
通所介護事業 第1号通所事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所介護事業（自主事業） 介護保険で要介護もしくは、要支援の介護認定を受けた方及び総合事業の対象者に対し、デイサービスセンターにおいて入浴・食事の提供・その他日常生活上の介助及び機能訓練等を行う。</li> </ul> <p>事業所名：デイサービスセンターふくしの里</p>	形態：自主事業 財源：介護報酬 予算：100,892千円
茂呂山老人福祉センター管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者福祉の増進と高齢者がリーダーシップをとる地域コミュニティの拠点づくりのために、施設の管理経営のほか、各種事業を展開する。</li> <li>・茂呂山クラブ活動の推進（1将棋、2卓球、3健康麻雀、4書道、5論語、6パターゴルフ・グランドゴルフ、7カラオケ）</li> <li>・茂呂山三位一体健康法の推進（「食」の合い言葉の推奨・軽スポーツの推奨・温泉健康法の推奨）</li> <li>・地域交流の場の提供（県民の日・敬老の日・節氣等を捉えての各種のイベント）</li> <li>・茂呂山クラブバスの運行（東回り・西回りの2コース）</li> </ul>	形態：指定管理 財源：指定管理料 予算：65,382千円
田之入老人福祉センター管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者福祉の増進と地域コミュニティの拠点づくりのために、施設の管理経営のほか、各種事業を展開する。</li> <li>・高齢者の健康増進、教養向上のための講習会開催（たのいり元気塾、介護予防教室、交通安全教室）</li> <li>・高齢者の「いこいの場」の提供（県民の日・敬老の日イベント、四季折々の飾り付け、趣味のクラブ、各種サークル、歌謡ショー）</li> <li>・シニアクラブ研修の場の提供</li> <li>・地域交流の場の提供（各種公演、カラオケ発表会）</li> <li>・巡回バスの運行（東回り・西回り・南回りの3コース）</li> </ul>	形態：指定管理 財源：指定管理料 予算：47,076千円
田沼老人福祉センター管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者福祉の増進と地域コミュニティの拠点づくりのために、施設の管理経営のほか、各種事業を展開する。</li> <li>・高齢者の健康増進、教養向上のための講習会開催（健康体操、元気はつらつ講座、介護予防講座）</li> <li>・高齢者の「いこいの場」の提供（県民の日・敬老の日イベント、四季折々の飾り付け）</li> <li>・シニアクラブ研修の場の提供（絵手紙）</li> <li>・地域交流の場の提供（カラオケ発表会、各種公演）</li> </ul>	形態：指定管理 財源：指定管理料 予算：13,934千円

事務事業名	内 容	
葛生あくと福祉センター管理運営事業	<p>高齢者福祉の増進と地域コミュニティの拠点づくりのために、施設の管理経営のほか、各種事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の健康増進、教養向上のための講習会開催（健康体操、絵手紙、各種講話）</li> <li>・高齢者の「いこいの場」の提供（県民の日・敬老の日イベント、四季折々の飾り付け）</li> <li>・シニアクラブ研修の場の提供</li> <li>・地域交流の場の提供（カラオケ発表会）</li> </ul>	形態：指定管理 財源：指定管理料 予算：21,505千円
福祉サービス運営事業	福祉サービス事業の運営にかかる事務費用	形態：自主事業 財源：自主財源 予算：118,628千円

## (2) 児童福祉サービスの提供

事務事業名	内 容	
児童発達支援事業	<p>通所により発達に心配のある児童に対し、日常生活における基本的習慣や、集団生活に適応するコミュニケーション能力、運動機能の向上をグループや個別で支援する。保護者に対しても関係機関と協力しサポートする。</p> <p>事業所名：さのチャイルドケアセンターすてっぷ</p>	形態：自主事業 財源：障害福祉サービス等事業収入 予算：22,582千円
障がい児相談支援事業	<p>発達に心配のある幼児・児童の自立した生活を支えるため、本人の抱える課題の解決や適切なサービス等を利用する利用計画を作成し、きめ細かい発達相談支援を行う。</p> <p>事業所名：さの社協相談支援センターほつぶ</p>	形態：自主事業 財源：障害福祉サービス等事業収入 予算：11,378千円

### 3. 市民参加による自立したまちづくり ～地域共生による地域福祉の基盤づくり～

地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と社会資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながり、共に支え合う地域共生社会の実現を目指します。高齢者等が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らししが続けられるよう、医療・介護・予防などの支援・サービス提供体制の構築を推進します。誰もが必要な福祉情報を入手できるよう広く市民に分かりやすく提供します。

#### 1 地域共生による福祉活動の推進

地域共生社会とは、地域で生活する住民や多様な主体が、制度の縦割りや支え手、受け手という関係を超え、地域課題を「我が事」としてとらえ、分野や世代を超えてつながり、課題の解決に参画していく社会を指します。そこで、地域の様々な人や組織がそれぞれに役割を持ち、暮らしに生きがいを感じる社会を共に創っていきます。

##### (1) 地区社会福祉協議会活動への支援

事務事業名	内 容	形態：自主事業 財源：会員会費・ 寄付金 予算：6,269千円
地区社会福祉協議会活動支援事業 (重点目標)	市内18地区に設置された地区社会福祉協議会に対して、研修会の開催や運営に関する支援や情報提供を行う。 地域の課題掘り起こしや関係機関などとの連携・ネットワークづくりを推進するとともに、地域住民による福祉活動の活性化を図るために、地区社会福祉協議会へ活動助成金を交付する。 地区社協支援職員制度の強化を図るとともに、地域における生活福祉課題などの把握のため、福祉活動推進員を配置し、住民の交流や、福祉活動の場などに出向き福祉ニーズを収集する。	
地域福祉活動拠点整備事業	地域住民の福祉活動や相談窓口、事務活動の拠点を確保し、安定した事業推進を支援する。	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：618千円

##### (2) ひとり暮らし高齢者等への見守りの充実

事務事業名	内 容	形態：補助事業 財源：市補助金 予算：4,188千円
ひとり暮らし高齢者等見守り事業	ひとり暮らし高齢者等を対象に、地域住民の参加・協力を得て見守り活動を実施し地域のネットワークの充実を促進する。	

### (3) 公益的な取り組みの推進

事務事業名	内 容	
社会福祉法人連携協働事業 (重点目標)	市内社会福祉法人の地域貢献活動を協働で行うため、情報共有や協議の場を設ける。佐野市社会福祉法人連絡会（仮称）の立ち上げ準備を進め、組織化する。	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：61千円

## 2 地域包括ケアシステムの構築

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、包括的支援事業等を地域において一体的に実施します。

また、地域包括ケアシステムを構築する上で重要な生活支援・介護予防において、自助・互助・共助で支え合う仕組みづくりや、担い手の養成を行い、体制を整備します。

### (1) 地域ネットワークづくりの推進

事務事業名	内 容	
地域包括支援センター運営事業	<p>地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする。保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが中心となり、総合相談支援事業、介護予防ケアマネジメント事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業等をチームで連携して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当日常生活圏域【佐野、犬伏】</li> </ul> <p>事業所名：佐野市地域包括支援センターさの社協</p> <p>地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上と福祉の増進を包括的に支援することを目的とする。保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが中心となり、総合相談支援事業、介護予防ケアマネジメント事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業等をチームで連携して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当日常生活圏域【葛生、常盤、氷室】</li> </ul> <p>事業所名：佐野市地域包括支援センターくづう</p>	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：38,448千円
生活支援体制整備事業 (重点目標)	<p>地域包括ケアシステムを構築する上で重要な生活支援・介護予防において、生活支援コーディネーターを配置し、自助・互助・共助で支え合う仕組みづくりや、担い手の養成を行い、体制を整備する。</p> <p>必要な生活支援体制の充実及び強化に関する協議を行うための第1層協議体（佐野市全域対象）への参加、及び第2層協議体（小地域エリア対象）の設置に向けた地域支援を行う。</p>	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：8,429千円

### 3 情報の提供

本協議会では、広報紙「さの社協だより」やホームページを中心として、事務事業や市内の福祉活動の状況を中心に情報発信しています。

これまでの市内の福祉に関する情報のほか、災害ボランティアに関する内容など市外の福祉に関する情報なども情報提供していくよう、情報通信技術( ICT )も活用し、誰もが利用しやすい情報共有の形を進め、地域共生社会の実現に向けて、市民が積極的に地域福祉活動に参加することや市民同士の交流や活動の促進を図っていきます。

#### ( 1 ) 情報提供の充実

事務事業名	内 容	形態：自主事業 財源：会員会費 共同募金配分金 予算：3,859千円
さの社協だよりの発行・ホームページの更新	広報紙「さの社協だより」を5月、7月、10月、2月の年4回発行する。また、ホームページ、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を活用し、本協議会が実施する事務事業の他、地域の福祉活動、災害時の被災者支援活動など、様々な福祉情報を市民をはじめ市内外へも広く提供する。 なお、財源の一部は、共同募金より配分を受けている。 事業名：広報事業、共同募金広報・啓発事業（B配分金事業）	

## 4. 市社会福祉協議会の体制づくり

地域福祉を推進するため、組織の強化、人材の育成、財源の確保を行い、社会福祉法人佐野市社会福祉協議会の基盤を強化します。

### 1 地域福祉推進に向けた基盤の強化

市民に期待される役割を果たしていくとともに国が推進する「地域共生社会の実現」に向けて、関係機関と緊密な連携協働を進めながら、本協議会の体制基盤の強化を図ります。また、第3次佐野市地域福祉活動計画の進行管理と事務事業の評価を実施し、事業運営の透明性を確保し、事務事業の見直し等を行っていきます。

地域住民の主体的な参加のもと、基本理念である「みんなが集い ふれあい 支えあ うまちづくり」を目指して取り組んでいきます。

#### (1) 運営体制の強化

事務事業名	内 容	形態：自主事業 財源：会員会費 寄付金 債券償還金 繰越金他 予算：165,997千円
法人の運営 (重点目標)	本所、田沼支所、葛生支所において法人運営に関する事務を行う。 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催や内部監査などを実施する。 組織内の連絡、連携のため、定期的に課・支所連絡会議、調整会議を行う。また、人材活用や職員管理を効果的に実施するため人事評価制度を継続して行う。 その他、将来の組織運営を担う若手職員の育成や職員全体の資質向上に重点を置き、各種研修会の充実を図るとともに業務改善に取り組み、事務事業の効果的、効率的な運営を図り、組織運営体制の基盤を強化していく。また、利用者が安全に利用できるよう、総合福祉センター周辺の工事を行う。	
総合福祉センター管理運営事業	地域福祉活動の推進拠点としての機能を果たすため、総合福祉センター(本所)の管理運営を行う。老朽化に伴う要修繕箇所は計画的に修繕を行う。	形態：補助事業 財源：市補助金 予算：9,181千円
災害対策事業	災害などによる緊急時に備え、災害用の備蓄品の整備・管理を行う。	形態：自主事業 財源：寄付金 予算：2,454千円
葛生あくと保健センター施設管理事業	葛生支所として、葛生地域の活動拠点である葛生あくと保健センターの施設管理、運営を行う。	形態：受託事業

## (2) 活動計画の推進・評価機関の設置・運営

事務事業名	内 容
活動計画推進・評価機関の設置運営	佐野市地域福祉活動計画の評価機関として設置し、事務事業の実績評価と計画の進行管理を行い、評価内容に基づき、その他社会情勢、地域の状況に応じて計画の見直しを行う。

## (3) 第4次佐野市地域福祉活動計画の策定

事業名等	事 業 内 容	
第4次佐野市地域福祉活動計画策定事業 (新規事業) (重点目標)	令和5年度をもって第3次佐野市地域福祉活動計画が終了となるため、令和6年度からの第4次佐野市地域福祉活動計画を策定する準備を行う。地区座談会を開催し、地域住民の生活課題の収集と整理を行う。(2か年継続事業)	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：1,348千円

## (4) 財源の確保

事務事業名	内 容
会員募集事業	市民参加による地域福祉活動を推進していくことを目指し、その活動財源を確保していくため、普通会員、賛助会員、特別会員を市内全域で募集する。
寄付金	本協議会が実施する事業や活動に理解や賛同をいただきながら、自主事業の財源となる寄付金を募集する。
収益事業	地域福祉推進のための活動財源を確保するため、効率の良い運営形態に見直し、田之入老人福祉センター、佐野斎場内にて売店事業を実施する。